

令和2年秋期 六浦地区推進連絡会

1 日時

令和2年10月15日(木) 18:30~20:00

2 場所

瀬戸神社 社務所2階

3 参加者 34名

(地域側) 自治会等地域団体関係 20名

(大学関係)

横浜市立大学・関東学院大学 2名

(支援チーム、その他行政側)

区役所 4名

支援チーム 8名

4 意見交換要旨

(1) 開会の挨拶(興津 地区連合町内会・地区社協福祉協議会 会長)

(2) 区長挨拶(区長)

(3) 出席者の紹介

地域、大学、区、支援チームの各自自己紹介。

(4) 第4期金沢区地域福祉保健計画策定に向けて(事業企画担当係長)

(5) 第3期金沢区地域福祉保健計画地区別計画振り返り

①計画の取り組み状況について

<地域でいきいき楽しい老後>

- ・高齢者の見守り
- ・高齢者お花見会
- ・敬老会
- ・高齢者居場所づくり
- ・学童とのふれあい給食会
- ・学童とのふれあいタイム
- ・昔遊びの会

地区社会福祉協議会
福祉活動第1部会委員長

地区社会福祉協議会理事

<楽しい仲間づくり>

- ・研修会
- ・社会見学

地区社会福祉協議会 福祉活動第1部会委員長

<子育てしやすい環境づくり>

- ・子育て支援活動
(ハイハイくらぶ)
- ・むつりんぴっく

地区社会福祉協議会理事

<子どもから高齢者までみんなで集まろう>

- ・春季ハイキング
- ・秋季ハイキング
- ・お祭り

地区社会福祉協議会 福祉活動第2部会委員長

<安全・安心なまちにするためにみんなで力を合わせる>

- ・社会を明るくする運動
- ・福祉講座
- ・地域ケア意見交換会

地区社会福祉協議会 総務企画委員長

- ・子どもの見守り
- ・防犯パトロール
- ・災害時に備えた取り組み

地区連合町内会会計

・地区社会福祉協議会副会長

- ・広報誌 『社協むつうら』『むつうらたより』の発行

地区社会福祉協議会 広報啓発委員会委員長

(6)意見交換

(地区連合町内会・地区社会福祉協議会 副会長)

金沢八景駅裏の権現山公園の工事が遅れているように感じるが、いつ頃完成するか知りたい。コロナ禍で工事が制限されているならば仕方がないが、地元では権現山での花見を非常に楽しみにしている人が多い。

(区役所より回答)※当日関係者が出席していないため、後日回答

令和2年6月の環境創造局からの説明では令和3年3月までに工事終了となっていたが、コロナの影響等により工事が遅れており、残念ながら3月の花見までの完成は難しい状況。

工事の進捗状況等の情報については、区役所から環境創造局に対し、地域への説明を要望している。

(地区連合町内会・地区社会福祉協議会 副会長)

塩場町内会をはじめ区内の多くの町内会で高齢化や若者の町内会離れが課題となっている。町内会ではすでに解決に向けた努力をしているが、何か知恵や工夫があれば知りたい。

(区長)

区内に住み続けたいと思う方が多いので、皆様と一緒に盛り上げていきたいと考えている。区内の知られざる魅力等の PR をはじめ、外部に積極的に区の情報を発信し、特に子育て世代の若い人口を増やすことで、担い手の獲得につなげたいと考えている。

(地区社会福祉協議会 福祉活動第1部会委員長・

地区民生委員児童委員協議会会長)

地区で民生委員が1人欠員しており、個別に依頼する等の工夫をしてもなかなか見つからない状況である。公募を実施したら良いのではなかいかと新聞に投稿があったが、金沢区役所でも欠員解消のために公募を検討できないか。

(福祉保健センター担当部長)

以前から公募についての議論はあるが、町内会連合会、自治会・町内会をはじめとする地域との連携という点で課題があるかと考えている。しかし、欠員が多い地区があることも事実なので、地区の皆さまと意見交換しながら検討していきたい。

(社協理事、子育てサロンハイハイくらぶ代表、主任児童委員)

若い世代への情報発信のためにホームページを作りたいが、詳しい人がいなくて困っている。また、コロナ対策に関する補助金があると聞いたので詳細を知りたい。

(地域力推進担当課長)

感染症対策に関する補助金(横浜市市民公益活動緊急支援助成金)の募集は、残念ながら既に締め切り済となっている。

SNS や ICT の活用等については、現在市民局で企画しており、ご説明させていただく予定であり、地域支援チームリーダーを通じて皆様に情報提供させてい

ただきたい。

(区社協事務局次長)

若い世代への情報発信のための SNS 活用への関心が高まっているため、12月と1月に基礎研修を実施する予定。今後も SNS 導入に向けた研修をはじめ、SNS 活用支援に向けた取組を継続したいと考えているので、ぜひご参加いただきたい。

(地区連合町内会事務局長・地区社会福祉協議会 副会長)

催し物の際に感染症拡大防止の観点から3密回避に努めているが、1回の参加者を削減し実施回数を増やす等対応すると、開催自体が難しくなることがある。そのような場合に区役所の会議室を利用することは可能か。

(総務課庶務係長)

全ての地域の催し物を受け入れることは区役所の容量的に難しいのが現状であるが、区全体を対象とした場合等には前向きに検討していきたいと考えている。地区推進連絡会等の区役所共催事業については、ご要望があれば利用頂ける。

(7) その他

(保護司)

現在区内の保護観察件数は月に40件程度を維持しているが、中学生がいないのが自慢。各学校で犯罪の芽を積むための話合いが実施されていることが要因であると考えている。

(六浦中学校校長)

10月には合唱コンクール(金沢公会堂)や、2年生の自然教室(野沢温泉)等があり、コロナ禍でも何とか工夫していろいろな活動を行っている。子供たちは元気に過ごしている。

(六浦小学校長)

毎日の登校見守り、台風後の運動会の設営等、地域の方々のお力添えをいただいている。4年生の福祉教育では、六浦ケアプラザの草むしりを行い、利用者とガラス越しの交流を楽しんだ。今後、見守り活動者との交流も予定している。

(瀬ヶ崎小学校長)

地域の力を借りながら運動会を実施。コロナ禍で多くのことが制限され、たくさんの我慢をしていた気持ちを発散するような、心からの笑顔と元気にあふれた非常に良い運動会だった。また、今後体験学習も予定。

(横浜市立大学ボランティア支援室コーディネーター)

オンライン授業中心だが、9月から1年生を中心に週1~2時間の対面授業を実施。学生同士の交流が無い中辛い思いをしている学生もいる。また、金沢区社会福祉協議会と食支援のボランティア、ケアプラザと子供向けの学習支援を実施している。

(関東学院大学社会連携センター係長)

9月の連休から1年生と実験、実習のある学部で対面授業が始まった。また、課外活動も一部再開されたが、いろいろな制約の中思うように動けない状況は続いている。例年地域で行われるサークル活動は、再開できるようになった際には、また学生の力を発揮させていただけると嬉しい。

(8) 閉会の言葉 (地区連合町内会・地区社会福祉協議会 副会長)